

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



かつやく とし
活躍した年:

???~???年



かつやく ぶんや
活躍した分野:

びっちゅうまつやまはんしゅ
備中松山藩主



ゆかりのある場所:

びっちゅうまつやまじょう
・備中松山城



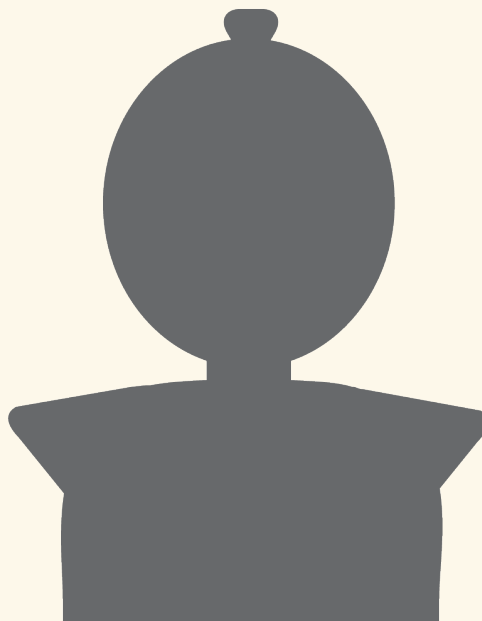
あきば
秋庭

しげのぶ
重信

新見市

高梁市

総社 早島 倉敷 矢野 浅原 笠原
市 町 市 町 市 町 市



かまくらじだい ぶし びっちゅうこくじょうぼうぐんかんこう いま たかはししゅうかんちょう じとう つうしょう さぶろう
鎌倉時代の武士。備中国上房郡有漢郷(今の高梁市有漢町)の地頭。通称は三郎といました。

あきばし さがみ くに いま かながわけん みうらし いちぞく しげのぶ じょうきゅう
秋庭氏は、もとは相模の国(今の神奈川県)の三浦氏の一族でしたが、重信は承久3(1

ねん お じょうきゅう らん てがら た びっちゅうこくかんこう いま たかはししゅうかんちょう じとう
221)年に起こった承久の乱で手柄を立て、備中国有漢郷(今の高梁市有漢町)の地頭と
なりました。

まつやまごじょうしゅれきだい き しょもつ えんおう ねん びっちゅうろ さいだい
『松山御城主歴代記』などの書物によると、延応2(1240)年、備中路における最大の
ぐんじきよてん びっちゅうまつやま しんしゅつ がぎゅうざん みね ひと おおまつやま しろ きず
軍事拠点である備中松山に進出し、臥牛山の峰の一つ大松山に城を築いたとされています。

びっちゅうまつやまじょう
これが備中松山城のはじまりとなっています。

かまくらじだい あきばし しげのぶ びっちゅうまつやまじょうしゅ すうだいづ あと いちじじょうしゅ はな
鎌倉時代に秋庭氏は重信から備中松山城主として数代続いた後、一時城主を離れますが、
あきばし いちぞく ひとびと むろまちじだい じょうしゅ なが はんえい
秋庭氏の一族(であろう人々)が室町時代にも城主となり、長く繁栄しました。

かまくら むろまちじだい つう かつやく あきばし かんけい いせき ぶんかざい たかはししゅうかんちょうない
鎌倉・室町時代を通じて活躍をした秋庭氏に関係のある遺跡や文化財が、高梁市有漢町内
かくしよ のこ
の各所に残されています。